

ALCE 第 6 回年次大会発表者募集

大会テーマ：言語文化教育とクリエイティビティ (Creativity)

2020 年 3 月 7 日(土)・8 日(日) 同志社大学(京都・今出川キャンパス)

私たちは、祖先が作り上げてきたことばや文化を与えられたものとして身につけ、他者と話し、生活を営む。

その一方で、私たちは、新しいことばや文化を生み出すことが可能である。もし、ことばや文化が私たちを定義するものとするならば、私たちが、自分たちの手でことばや文化を新しく生み出すことは、既存のことばや文化の枠組みの中で「自分たちが誰か」を確立するのではなく、自分たちの手で「自分たちが誰か」を決定することに繋がる。その意味で、創造は、人が生きるうえで必要不可欠である。

第 6 回年次大会では「言語文化教育とクリエイティビティ」をテーマに掲げ、今後、言語文化教育を拡張していくための議論を行う。学習者があらゆる場面でクリエイティビティを発揮できる学習環境とはどういうものかを模索するとともに、クリエイティブ・ラーニング、教師のクリエイティビティ、創造産業・創造都市／農村とことばの教育、Society 5.0 の社会における新しいことばの創造など、言語文化教育とクリエイティビティを取り巻くさまざまな問題について検討する。本大会においては、言語教育の実践者・研究者のみならず、教育学、芸術学、経済学、医学、社会福祉学など、他の学術領域に所属する方々の積極的な参加を期待するとともに、言語教育と複数の学術領域を積極的に交差させることによって、その化学反応から、新たな視点や価値の創造に挑戦したい。

大会シンポジウム

2020 年 3 月 7 日(土) (午後予定) コーディネーター：飛田勘文, 佐藤慎司, 嶋津百代, 牲川波都季

登壇者：佐々木雅幸氏(同志社大学)：文化経済学, 都市経済学

佐藤博志氏(筑波大学)：教育学, 学校経営学

吉田真理子氏(津田塾大学)：英語教育, ドラマ教育

発表者募集

大会テーマあるいは、言語・文化・教育にかかわる内容であれば、自由にご応募いただけます。

特に、今回は「クリエイティビティ」について関連領域からの応募を歓迎します。(託児室設置予定)

発表形態：口頭発表(30分・40分)、オンライン発表(30分)、ポスター発表、フォーラム、パネルセッション

カテゴリーについては、学会ウェブサイトをご覧ください。発表日は、7日(午後)・8日(午前・午後)のいずれかです。

発表資格：筆頭者が会員であること。

非会員の方で応募を希望される方は、締め切り 2 週間前までに入会手続きをお済ませください。

応募メ切：2019 年 11 月 4 日(月) 23:59(日本時間)

学会ウェブサイトを確認のうえ、必要書類を annual@alce.jp (大会事務局) までお送りください。